

みんなの議会 おおさと

NO.203

定例会



町花：つつじ

早く大きくな～れ

明成高校と合同種まき・こども園

令和3年8月1日
宮城県大郷町議会

2 令和3年度補正予算
5 一般質問

12 第3回・第4回臨時会
14 委員会レポート

15 追跡レポート
その後どうなった…

中粕川かさ上げ事業に9200万円



6月定例会が6月3～8日に開催され、一般会計は7896万4000円を追加し、歳入歳出それぞれ総額52億6458万7000円となりました。宅地分譲事業特別会計は7780万4000円を追加し、歳入歳出それぞれ総額3億3470万円となりました。

その他の補正予算

電柱移転補償費	408万円
障害者福祉地域生活支援業務	220万円
不法投棄防止ネット補修工事	48万円
ドローン活用特区推進協議会補助金	250万円
役場駐車場整備等工事	808万円
町道改良舗装工事(土橋・明ヶ沢線)	1100万円
放射能汚染廃棄物処理(稲わら)	983万円

200万円 カントリーエレベーター利用促進補助金



問 JA新みやぎ側から利用料1kgあたり5円の補助要請があったが、1円になった理由は。
答 建設費補助金約1億円を出しているため、今年は1kgあたり1円で理解していただきたい。

630万円 子育て生活支援特別給付金

問 給付する世帯の条件と金額は。
答 低所得の子育て世帯に対し、1人一律5万円を支給する。

-133万円 小・中学校プール監視員報酬等

問 減額要因は。
答 新型コロナウイルス感染症対策として、昨年に引き続き使用中止としたため。

834万円 土地境界確定測量業務



問 旧田布施・東沢団地、山中教員住宅の跡地利用は。
答 定住促進用地として利用していく。境界確定後、公売する予定。

1444万円 新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業補助金

集団接種運営業務 660万円 (職員時間外勤務手当)

問 内容は。
答 土曜、日曜の計4日分の接種業務。

接種会場運営業務 784万円

問 大規模接種会場までの交通費を無償にする考えは。
答 社会福祉協議会と協議し、送迎は無償にしたい。



議員 石垣 正博

大規模開発事業の規制強化を

町独自の規制には限りがある(町長)

自然環境保護に関する条例を作るべきでは

問 本町の自然は長い年月をかけて形成され、我々町民の財産である。その財産も土砂採取・太陽光発電施設設置等による大規模開発の増加で、河川の堆砂による大雨時の内水被害や、景観・環境に対する影響が心配される。

答 大規模開発事業は、大郷町開発指導要綱に沿って町が同意を行っている。増加が予想される太陽光発電施設の設置に対する、規制強化が必要と考えるが町長の考えを伺う。

問 町長 大規模な施設であれば、国のガイドラインに沿って県の許可を得ている事業である。町独自の規制には限りがある。

都市計画区域の線引きを

問 他町村の事例も参考にし、指導強化に努めていく。県町村会において、政府への要望事項として、事業認定基準の厳格化について要望を進めている。

問 要綱は法的根拠を伴うものではない。違反するものに対し強制力を有していない。早急に条例を作るべきでは。

答 町長 今ここで即答できるような内容ではない。町のいろいろな意味で、発展にどう影響するかなど考えながら対応したい。

問 守るべきところは守る。開発するところはする。線引きして初めて整然とした町がつけられる。定住も増える。荒れた土地ではいくらか分譲しても来ない。大規模開発は、町が同意して県が許可するというものではなく、町が責任を持って許可をする。それには、条例を作るべきと思うがどうか。

答 町長 厳しい内容で、検討する必要があるが既に来ていることを実感した。次の機会まで広く検討させていただく。



▲ゲンジボタルの生息地(川内沢田沢入口)

6月定例会
一般議案

中粕川地区を災害危険区域に

一般議案は条例の制定1件、財産の貸付け1件、委発1件、その他5件の報告について審議し、原案のとおり可決しました。



▶中粕川災害危険区域

【議案第37号】
大郷町災害危険区域に関する条例の制定について

・令和元年東日本台風と同程度の出水に対する安全性が確保されるまでの期間について、被害の大きかった中粕川地区を災害危険区域に指定し、その区域内における建築物の建築制限を行うことにより、住民の生命・財産と暮らしを守るため。

【議案第38号】
財産の貸付について

・町有地である、東成田長松沢山の山林を土砂採取用地として(株)鈴幸商店に貸付ける。

面積	金額(年間)	期間
80,920㎡	100万円	令和3年7月1日から令和9年6月30日

【委発第2号】
町長専決処分事項の指定について

〈提出者〉
議会運営委員会
委員長 石川 壽和
委員 熱海 文義
若生 寛
千葉 勇治
石垣 正博
赤間 茂幸

〈提案理由〉
公平かつ公正な町民負担及び財源の確保等、円滑かつ迅速な処理を可能にするため。

〈抜粋〉
・議会の議決を経た工事または製造の請負契約について契約金額の10分の1以内で500万円以下(1回限り)の変更契約にすること。
・町の義務に属する賠償補償につき、1件50万円以下の範囲内において、その額を定めること及びこれに伴う和解をすること。

令和3年6月定例会議案採決結果一覧表

分類	議案名(略称)	採決結果	吉田耕大	佐藤牧	赤間茂幸	大友三男	佐藤千加雄	田中みつ子	熱海文義	石川壽和	和賀直義	高橋重信	石垣正博	千葉勇治	若生寛	石川良彦
議案第37号	大郷町災害危険区域に関する条例の制定について	可	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第38号	財産の貸付について	可	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	●	○	-
補正予算	一般会計補正予算(第3号)	可	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	宅地分譲事業特別会計補正予算(第1号)	可	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
委発第2号	町長専決処分事項の指定について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-

可:可決 否:否決 ○:賛成 ●:反対 継続:継続審査 退:退席 欠:欠席
※可否同数でない限り、議長(石川良彦)は採決に加わらない。



おおとも 大友 議員

小学校父兄用駐車場整備は

整備に至っていない(町長)

問 選挙公約に掲げていないが4年が経過するが、未だに駐車場が整備されないのはなぜか。

答 町長 小中学校工アコン整備やIC教育環境整備を優先したため、整備に至っていない。駐車場は保護者の皆さんに自分自身で努力していただきたい。

問 本気で整備する気持ちがあるのか。

答 町長 駐車場は棚上げの問題であり、考えを切り替える。

問 公約実現の約束が果たせなかったことを、町民に説明すべきでは。

答 町長 機会を設けて説明する努力をする。

問 大栄団地道路改修整備について、防災の面から袋

これ以上の開発は自然破壊だ

里山は財産、後世に残したい(町長)

問 太陽光発電所の建設及び土砂採取場等の開発が多数あり、異常気象も多発している現在、土砂崩れ等による甚大な被害が想定される。自然との共生が肝心であり、庭先まで里山の生き物たちは追い込まれている。これ以上の開発は自然破壊である。所見を伺う。

答 町長 里山は何ものにも代えがたい財産であり、これを後世にも残したい。町独自の規制に限りがあるが、他町村の事例も参考に指導強化に努めていきたい。



たかはし 重信 議員

ファームガーデン 跡地の活用を

問 新型コロナウイルス感染症の収束が見られない。密を避けるための制約を受ける子どもたちの心労もピークと考える。

問 早急に実現していただきたい。お腹が空いたら縁の郷のレストランで食事やバーベキューでコミュニケーションを図り、夕陽を見ながらコーヒーを飲み、自然を満喫して帰宅するなど、素晴らしい景観に立地している。

問 四季を通して自然と触れ合う施設を提供できるように里山開発を考えていきたい。

問 早急に実現していただきたい。お腹が空いたら縁の郷のレストランで食事やバーベキューでコミュニケーションを図り、夕陽を見ながらコーヒーを飲み、自然を満喫して帰宅するなど、素晴らしい景観に立地している。

選挙公約の状況は

問 選挙公約に掲げていないが4年が経過するが、未だに駐車場が整備されないのはなぜか。

答 町長 小中学校工アコン整備やIC教育環境整備を優先したため、整備に至っていない。駐車場は保護者の皆さんに自分自身で努力していただきたい。

(株)東北アグリヒト 温室解体工事

問 民間会社の解体工事に公金を支出し、なぜ大郷町が工事発注者となったのか。

答 町長 台風災害発生後、中粕川地区を中心に行つた「ガレキ撤去」の一環であり、個別に発注したものは無い。

問 解体工事は町長の考えか。

答 町長 町長が指示したとかではなく、災害廃棄物だから処理したということである。

一般質問

問 ガーデン事業跡地の活用と縁の郷を取り巻く自然豊かな環境をファミリーで緑を楽しみながら運動できる多目的レクリエーション拠点として活用することが町の活性化になると考えるが所見を伺う。

答 町長 コロナ禍から抜け出し、ジョギングや散歩、キャンプや野外遊具等の需要増が予想される。令和2年度、大郷小学校卒業生65名の「私たちがえがく町の未来」を題材とした授業の中で食と平和、安全、交流、健康と遊びを通じて大郷町の豊かな自然を都会の皆さんを迎える場所にしたいという夢が語られている。



▲公約は実現してこそ意味がある(大郷小学校)

大雨による内水対策は

問 石原・土手崎三十丁・袋地区などの、内水対策を講じる考えは。

答 町長 現時点で個別の行政区の家屋に対して、対策はない。

問 石原第2揚水機場より下流の、堤防かさ上げ対策を早急に講じるべきでは。

問 地域整備課長 指摘された件に対し、検討を進めている。

問 土手崎三十丁・袋地区に関して、町独自の水害対策を講じるべきでは。

答 町長 安全確保は町だけでできるものではなく、国の考えもあり、町として強く要望していく。



▲自然と夕陽に触れあえる場所(縁の郷)

答 町長 官だけの知恵だけでなく、民も一緒に計画立案に参加してもらう内容で今後積極的に行動したい。

一般質問

問 解体処理費約1億7000万円の公金支出であるので、透明性をもって行うべきではなかったのか。

答 町民課長 定められた規則に則って行っている。



議員 吉田 耕大

コロナワクチン接種を万全に

接種の加速化を図る(町長)

問 7月末に高齢者のワクチン接種が終えると報道されているが、接種計画は。

答 町長 高齢者の接種計画は、黒川地域4市町村で7月末を目標に行っている。個別接種を行うとともに、接種の加速化を図るため、大規模集団接種を計画している。

問 20代・30代の陽性率が増えている。若者への接種はどう進めるのか。

答 保健福祉課長 ワクチンの効能やリスクの情報発信をする。

問 接種率の目標、考え方は。

答 町長 インフルエンザ接種率を参考に医師会の助言により85%とした。

問 自力で接種会場に赴くことが困難な希望者のため、移動のためのタクシー活用

ワクチン接種の情報発信を

必要な情報を逐次周知していく(町長)

問 ワクチン接種について多くの情報発信を。

答 町長 防災無線、広報紙、ホームページへの掲載を行っている。必要な情報を逐次周知していく。

問 7月末までには、町内の65歳以上のワクチン確保は可能なのか。

答 保健福祉課長 大和町総合体育館を会場にした集団接種及び杉山医院や町外医療機関で受ける予定数も含めると、高齢者用のワクチンは100%を確保している状況である。

問 ワクチン接種予約と移動手段のフォローは。

答 保健福祉課長 希望に沿うよう、今進めている状況である。

問 集団接種の周知や予行練習など進捗状況は。

答 町長 4月17日に医師



議員 吉田 耕大

一般質問

・看護師等専門職を含めた形で実施している。研修会など、実施に向けた準備を進めている。

問 64歳以下のワクチン接種の状況は。

答 保健福祉課長 情報について、まだ町のほうには来ていない。4市町村でその辺の内容も確認しながら進めていきたい。

問 町内の事業所に消毒液支給や「非接触型検温器補助」を行う考えは。

答 町長 対象事業者は特に感染のリスクが高い飲食店に限り受付を開始している。

本町の活性化を

問 定住促進のため民間活力による対策を。

答 町長 行政区など地縁組織と連携、または民間やNPO法人の活用も視野に入れながら、登録物件の発掘に努めていく。

問 道の駅のテラスで飲食ができるようにならないのか。

答 町長 コロナウイルス感染状況等を確認しながら、おおさと地域振興公社と協

介護保険事業について

問 高齢者の健康づくり推進と介護予防事業がコロナ禍の影響を受けている。事業の具体的展開は。

答 町長 昨年度当初、初の緊急事態宣言が発せられたことから、ふれあいの家の利用を中止したが、感染対策を講じながら、再開している。その後は※フレイル予防の観点からできる限り中止することのないよう実施している。

問 電気の使用量をAIが測定し異常を感じたら、関係者に連絡する「見守り電気」、自動音声の電話で体調を確認したり、電気や水道の使用量で異常を感じし関係者に知らせる「おひとりさま」等を、増加する一人暮らし対応施策として、福祉用具貸与・住宅改修事

仮設撤去後は

問 本年11月で仮設撤去となる予定だが移転候補地等進捗状況は。

答 町長 各種イベント等の駐車場利用につながるよう積極的にPRを実施していく協議をしている。

問 復興半ばではあるが、町長選挙の出馬の考えは。

答 町長 立候補する決意を申し上げる。

問 中粕川かさ上げ再建6世帯、中村造成宅地4世帯、災害公営住宅9世帯、現地再建7世帯、自宅修繕5世帯、町営住宅・一般賃貸住宅への入居2世帯、未定3世帯となっている。



▲ワクチン接種の加速化を(集団接種会場)



▲集団接種の予行演習

問 業に加えられないのか。

答 町長 提案と同等の内容の「大郷町あんしん見守りネットワーク事業」を実施している。

問 介護老人福祉施設の待機者の課題は解消されていない。家族で介護している方への支援策は、介護貢献

答 町長 状況を確認し、必要な在宅介護サービスを提供することにより、問題解決されると思われるので、奨励金等の支給は考えていない。

※加齢により心と体の働きが弱くなってきた状態(虚弱)



ちば ゆうじ 議員
千葉 勇治

ドローン特区は馴染まない

今後は農業の主力になる(町長)

問 ドローン戦略特区を進めるにあたり、機構側がクラウドファンディング(不特定多数の人々から資金調達をすること)で1000万円を目標にして、集まったのは22万4555円約2・2%、22人という状況で、町民の関心は薄く、町の事業として馴染まないと思うが。

答 町長 今やロボットやドローンが農業の主力になるという話もある。次の世代が大郷町の産業として取り組み、今後これを守りながら町の繁栄を目指す。

問 雇用や経済効果の具体的な見通しはあるのか。

答 町長 新しいものを発明するということは、今後それが成功した段階でどれだけの量が必要なのかという問題が発生するものであ

道の駅西側駐車場に木を

環境整備に努めていく(町長)

問 先日、道の駅西側駐車場にサルスベリの木が寄贈され植えられた。広い駐車場の周りに季節季節に咲く目玉になるような木を植樹する考えは。

答 町長 道の駅西側駐車場に、サルスベリの木が15本寄贈され、植樹していただいた。

今のところ、サルスベリだけで来町された方の癒しの場となるよう樹種等も検討しながら環境整備に努めていく。

問 駐車場周辺の緑化活動に対して、町民に声がけをし、寄付を募ってはどうか。

答 町長 緑化推進委員会等の事業の活用、町民からの寄付を募る等、様々な方向から協議していく。



たなか みつこ 議員
田中みつ子

一般質問

問 視聴覚障害者に支援を暮らせる施策を。

答 町長 可能な限り障害者の意見を聞き、整備計画

視聴覚障害者に支援を

視聴覚障害者が安心して暮らせる施策を。

問 町民にとって水は命。安全な水を供給できる保障は「みやぎ型管理運営方式」の中でどのように担保されているのか。

答 町長 県との受水契約になるので、県が確実に保障していると判断している。

みやぎ型管理運営方式に伴う町水道の今後は

問 以前に町長は「補助金が通過するだけで、一銭の手出しもないから理解し、協力願いたい」と言っていたが。

答 町長 新しいテーマを掲げて次の時代に活かせる事業として取り組んでいる。それに町が投資して何で悪いのか。否定するほうが町を全然考えていない。

る。あなたのような考え方で取り組むのでは失敗も成功もない。



▲季節ごとに咲く木を



▲ドローンを利用したプログラミング教育講座

問 補聴器に対する支援を願いたい。

答 町長 何らかの手当を講じていきたい。財源をどうするか考えたい。

に反映させるよう努めていく。

議案審議結果一覧表

分類	議案名 (略称)	採決結果	吉田耕大	佐藤 牧	赤間茂幸	大友三男	佐藤千加雄	田中みつ子	熱海文義	石川壽和	和賀直義	高橋重信	石垣正博	千葉勇治	若生 寛	石川良彦
第3回臨時会	一般会計補正予算(第1号) 51億649万円(649万円↑)	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	戸別合併処理浄化槽特別会計補正予算(第1号) 7027万円(320万円↑)	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
第4回臨時会	専決処分 承認第1号~第6号	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	令和2年度一般会計補正予算(第12号)	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	一般会計補正予算(第2号) 51億8562万円(7913万円↑)	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-

(↑)は増額、(↓)は減額 可:可決 否:否決 ○:賛成 ●:反対 継続:継続審査 退:退席 欠:欠席
※可否同数でない限り、議長(石川良彦)は採決に加わらない。

議会改革調査特別委員会

7/9 議会基本条例に関する調査分科会
〈視察先〉大衡村議会・美里町議会
〈内容〉議会基本条例に関することについて



6/17 議会のIT化に関する調査分科会
〈視察先〉大和町議会・加美町議会
〈内容〉議会のIT化に関する取り組み状況について



議会の主な動き (4/1~6/30)

月 日	用 務	月 日	用 務
4/6	春の交通安全運動開始式	5/20	議員全員協議会
4/7	議員全員協議会		災害対策調査特別委員会
	4/8	大郷中学校入学式	5/21
4/9	第3回臨時会	5/25	宮城黒川地方町村議会議長会臨時総会〔仙台市〕
	大郷小学校入学式	5/27	議会運営委員会
4/15	広報広聴常任委員会	5/28	江合・鳴瀬・吉田川水系改修促進期成同盟会
	奨学資金貸与選考会	5/31	宮城県町村議会議長会臨時総会〔仙台市〕
4/20	教育民生常任委員会	6/3~8	第2回(6月)定例会
4/21	総務産業常任委員会	6/3	議員全員協議会
4/23	宮城黒川地方町村議会議長会定例会議〔仙台市〕	6/4	広報広聴常任委員会
5/6	議員全員協議会	6/17	議会改革調査特別委員会(議会のIT化に関する調査分科会)視察研修〔大和町・加美町〕
5/10	第4回臨時会		6/23
	議会改革調査特別委員会(議会のIT化に関する調査分科会)	6/24	広報広聴常任委員会
5/17	宮城黒川地方町村議会議長会正副会長会議・監事会〔仙台市〕	6/29	黒川地方市町村議会連絡協議会監事・役員会

第3回 臨時会

4月9日(金)

役場庁舎に防犯カメラ設置
649万4000円



▶設置された防犯カメラ(4台)

一般会計補正予算
新型コロナウイルス抗原検査費用や庁舎内防犯カメラ設置工事費等649万4000円を追加し、歳入歳出それぞれ総額51億649万4000円となり、原案どおり可決しました。

戸別合併処理浄化槽特別会計補正予算
福島県沖地震による合併処理浄化槽災害復旧工事費320万円を追加し、歳入歳出それぞれ総額7027万7000円となり、原案どおり可決しました。

第4回 臨時会

5月10日(月)

新型コロナウイルス感染症対策費等
7912万9000円追加

令和3年度一般会計補正予算(第2号)及び専決処分7件について審議し、新型コロナウイルス感染症対策費等7912万9000円を追加し、歳入歳出それぞれ総額51億8562万3000円となり、原案どおり可決しました。

〔承認第7号〕令和2年度一般会計補正予算
総合運動公園排水管災害復旧工事
復旧はいつ頃か。
答 9月末の予定である。
〔議案第36号〕令和3年度一般会計補正予算
自動水栓化(1727万円)の完成予定は。
答 公共施設として11カ所あり、一括発注でコロナ対策に万全を期したい。
問 大学生の学業継続支援交付金事業(255万円)の周知は。
答 広報紙・防災無線等により周知を図りたい。
事業継続支援交付金
新型コロナウイルス感染症拡大防止協力金
1100万円
1632万円

- 承認第1号 指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準を定める条例の一部改正
- 承認第2号 指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部改正
- 承認第3号 指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正
- 承認第4号 指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部改正
・関係省令の施行に合わせ、各事業における人員の緩和条件、運営に関する規定に虐待防止に関すること、職員のセクハラ・パワハラ防止に関すること、業務継続計画に関すること、テレビ電話等の利活用等について追加で規定した。
- 承認第5号 税条例等の一部改正
・法律の施行を受け税条例等の一部改正を行う。
- 承認第6号 地域経済牽引事業促進区域における固定資産税の課税免除に関する条例の一部改正

臨時会

委員会

第79回 追跡レポート

歴史民俗資料館準備室

歴史民俗資料館準備室は現在どうなっているのか。
(平成29年度決算審査特別委員会より)

社会教育課長

旧大松沢小学校は雨漏りなどがあり、貴重なものをピックアップして、少しでも早く移転できるよう検討していく。
(議会広報196号 追跡レポートより)

その後の対応と今後の計画

歴史民俗資料館準備室については、町内既存施設等への移転も含め、検討しているところですが、まだ、今後の具体的な方策は定まっていない状況です。

歴史民俗資料館準備室に保管している資料、出土品等の遺物については、管理、保管方法を専門家等の意見も伺いながら、後世に残すべき貴重な遺産として、保存、有効活用できるよう、慎重に検討を重ねてまいります。

社会教育課長



▲発掘された土器

消防団員の確保を

一般団員を辞めても、機能別団員として残ってもらう方法はないのか。
(令和元年度予算審査特別委員会意見書より)

総務課長

強制的にはできないので、残っていただけよう声かけはしている。引き続き団員の確保に努めていく。
(議会広報198号 追跡レポートより)

その後の対応と今後の計画

令和3年6月現在の消防団員数は、定員310名に対し276名で、充足率は89%となっております。また、人口に対する団員数の割合は、3.5%となっており、令和2年度の宮城県内町村の平均1.78%を上回っております。

令和2年度の入団者は、一般団員2名、機能別団員1名の計3名。退団者は一般団員10名。内、機能別団員として残っていたのは1名で、団員数は昨年より7名の減となっております。

今後も、町ホームページやSNS等を活用し、消防団の理念と活動内容等を紹介し、新団員の確保と機能別団員として残っていただけるよう、声かけを行ってまいります。

総務課長



教育民生 常任委員会

4/20



▲担当課より説明

【調査の概要】

第8期介護保険事業計画の円滑な運営について、保健福祉課長、長寿介護係長より説明を受け、調査を行った。

【意見】

1. 第7期までの計画や令和2年度の事業展開をよく深堀・分析し、第8期介護保険事業の初年度から対応されたい。
2. 依然として、期待される待機者の緩和につながっていない。早期の原因分析と更なる待機者解消に努められたい。
3. 施設利用のハードルが高くなった分、在宅介護利用が増加し、家庭における介護負担が急速に拡大している。在宅介護に携わる方々に対するサポート体制の充実を早急に図られたい。
4. 健康づくり・生きがいづくり・認知症予防のために様々な教室等を実施しているが、各地区に、リーダー等を育成し地域の人々と一緒に取り組み、協働できる新しい体制づくりに努められたい。
5. 認知症高齢者は増加傾向にあり、その対策は年々重要度が増し、予防対策は喫緊の課題であり、早期発見が重要なため、住民健診などに取り入れることができないか早期の検討が必要である。

次回は

「学校教育について」を調査します。

総務産業 常任委員会

4/21



▲令和3年11月より発電開始のメガソーラー

【調査の概要】

開発許可による太陽光発電施設の「宮城大郷ソーラーパーク」、また町内農地を転用した小規模太陽光施設、山砂採取許可を受けた棚倉産業側の視察を行った。その後、開発許可や農地転用許可の状況等の説明を受け、調査を行った。

【意見】

1. 町と賃貸借契約をしている町有地のメガソーラー施設を視察し、工事の進捗状況を確認した。町有地の利用は20年の計画であるが、現在の出入り口は大崎市からの1カ所である。20年後の利活用を考えると、本町からの出入り口も必要である。将来を見据えたまちづくりを図られたい。
2. 小規模太陽光施設の設置にあたり、農地転用の申請が多くなっており、本町の景観は損なわれ、自然環境破壊が懸念される。土地利用調整・誘導の仕組みづくりコントロールなど様々な課題も取り上げられている。関係部署と協議し、監視体制、町の指導を強化されたい。
3. 土砂採取場の沈殿池は県の開発許可に沿った設置との説明であったが、小規模で大雨などの際に河川への流出が懸念される。本町の開発指導要綱があるが制限することはできないため、開発行為により大雨などの自然災害や里山の景観保存を考慮し、本町独自の自然保護条例等を制定すべきである。

次回は

「河川改修について」を調査します。

自然保護条例等の制定を

委員会

住民の 声



さ さ き ともゆき
佐々木智行さん
(江戸沢)

美しい故郷
豊かな自然が好きです

私は大郷の自然豊かなところが好きです。だから、道端に落ちているごみがとても気になります。それは犬の散歩中や環境保全活動中など、色々な場面で見られます。どうしたら道端のごみが減るのでしょうか？
たとえば、大人数で一齐にごみ拾いをしたら良いという意見もあるでしょう。確かにそれも良いとは思いますが、やはり一時的な対処と考えられます。ではどうするべきか。

日々の生活の中で、何気ないタイミングで、気付いたら誰でもごみを拾ってごみ箱に捨てる。これは、もしかしたら当たり前なことなのかもしれません。でも、それが一番だと思つのです。

確かにそれは恥ずかしいかもしれませんが、勇気のいることかもしれません。しかし、それをみんなでやることで真に当たり前前の行動になっていくのではないかと私は考えます。

誰もが簡単にできるボランティアで、大郷の綺麗な環境を守っていきましょう。

町村議会議員講座が開催されました

7月15日 (木) 「議員が守るべき政治倫理」
講師：弁護士 太田雅幸氏

7月16日 (金) 「議員のなり手不足と
住民参画を考える」
講師：明治大学教授 牛山久仁彦氏



次回定例会

予定 9月14日(火)から
午前10時～
9月30日(木)まで

令和2年3月定例会より、ライブ中継と録画を動画サイト「YouTube (ユーチューブ)」にて、配信しています。右記のQRコードよりご覧になれます。



編集後記

いまだに猛威を振るっている新型コロナウイルスですがワクチン接種も進み、早く免疫が確立され、元どおりの生活を送られるように願いたいものです。

中村原地区の宅地造成工事も工事業者が決まり造成が始まります。災害公営住宅への一日でも早い入居ができますように応援をしてまいります。今年も想像以上の大雨が各地で発生し、亡くなられた方も出ています。「避難指示」が発令された際は早めの避難を是非お願いします。自分の命は自分で守りましょう。

若生 寛

編集委員

広報広聴常任委員会

委員 長	若生 寛
副委員 長	佐藤 牧
委員 員	吉田 耕大
委員 員	赤間 茂幸
委員 員	熱海 文義
委員 員	石川 壽和